

JP タワーの東京中央郵便局

7月、丸の内に戻り営業を始めた東京中郵、その建替えは取り壊しか、保存かで新聞を賑わせました。どの程度、保存がされたか、内部も含め覗いてみました。

建物外観はほとんど変わらず残されたように見えますが、近づくとかなり変わったところがみられます。床面が歩道と段差がなくなり、入口の階段がなくなっています。下写真のように、中央郵便局の表示がなくなり入口周りは彫像の付いた UPU ポストもなくなりかなりすっきりしたようです。



改装前正面玄関



段差が消えた正面玄関

逆に以前より存在感を増したのが東側入口（東京駅側）です。間口も広がり、ガラス張りの雨よけとそれを支える太い柱がどっしりと建ち、こちらが正面玄関か感じてしまう造りです。

以前の回転ドアをしのぶ正面の円形自動ドアから中に入ると、改装前は掲示用のパネルで囲まれてその存在をあまり意

識させられなかった黒大理石張りの八角柱が目



JPタワーを空撮
SankeiBIZより



改装前駅側東入口



正面玄関になった感の駅側東入口

に入ってきます。外壁の白と対比となるよう配慮されたという八角の漆黒の大理石柱、改めてその価値を認められたか、展示で隠されることもなくその存在を見せています。

懐かしき趣味の切手コーナーは改装前とほぼ同じ位置に切手展示方法を変えて窓際にカウンター様にこの

されていました。はがき、シール、フレーム切手、その他の郵便会社販売グッズ陳列台を背にした切手帳・解説書の展示ケースの上です。切手シートを挿んだざっと70枚位の種類の見出しをつけたパネルが本のように並んでいます。所定用紙に希望切手のパネル番号を記入します。平日は19時、土日は15時まで開いています。ふり返ったところに2,300円の中央郵便局のフレーム切手、その中に中

郵の地下に郵便用の鉄道が敷かれていたようすの切手があり、その存在を初めて知りました。

再開発した高層ビル「J Pタワー」内の商業施設名「KITTE (キッテ)」が、来年3月開業します。その時、中央郵便局入口にどのような表示がなされ、局内から商業施設へのどのような動線が意図されるか……。このJPタワーの6階からの東京駅の眺めはダイナミックだそうです。



郵便会社販売グッズスペースを背に特殊切手が並ぶ

切手シート挿んだパネルシートでしか買えない雰囲気・・・



改装なった建物の2ショット

